
第92回 | 株 主 通 信

平成28年4月1日～平成29年3月31日





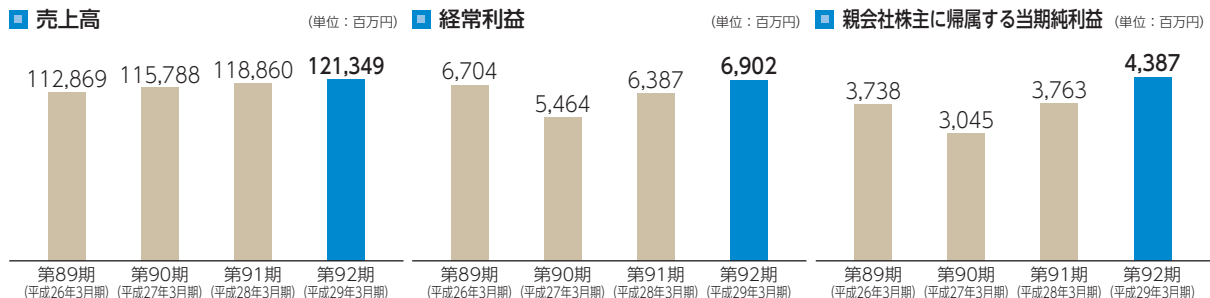
代表取締役社長 **横田 隆**

株主の皆様へは、日頃よりコニシグループにご支援いただき、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第92回株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは、平成28年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定しており、平成30年3月期が目標到達年度となっております。中期経営計画達成に向け、bondセグメントにおいては、コア事業と位置づける汎用・住宅関連事業での販売拡大、次の柱となる産業資材分野や海外への積極展開を図っております。また、土木建設セグメントにおいては、建築補修分野での補修材・シーリング材の販売拡大、土木分野では補修・補強工法を積極的に展開し、関係工事会社との連携強化を進めて参ります。化成品セグメントにおいては、組織の構造改革を進め、新規商材・新規顧客の開拓を図り、商品の高付加価値化と海外への進出を実現できる体制の構築を目指しております。

さて、当社は2020年に創業150年を迎えることとなります。更なる事業拡大を目指し、関係会社を含めたセグメントごとのグループ経営をより一層推進し、連携強化による相乗効果を発揮することで安定した利益を創出し、企業価値を高めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



事業区分別の状況

[ボンド]

一般家庭用関連においては、ホームセンター等のDIYルートを中心に震災の影響を受けている九州地区で伸長しましたが、個人消費の低迷や販売先での競争激化によりコンビニエンスストアや100円均一ショップの販売ルートで微減となりました。

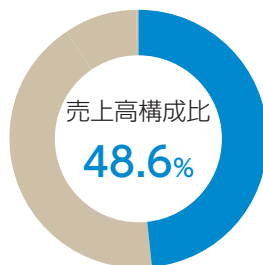
住宅関連においては、新設住宅着工戸数が高水準で推移しており、内装工事用接着剤、タイル用接着剤およびシーリング材並びに建築資材の製造に用いられる接着剤の売上が伸長しました。

産業資材関連においては、紙関連用途向けの水性接着剤やパネル用途向けのウレタン系接着剤および自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤が大きく伸長しました。また、新規開拓が進んだ粘着テープも大きく伸長しました。

土木建築関連においても、都市部を中心に建築物のリニューアル物件が増加し始めており、補修材、建築用シーリング材ともに伸長しました。一方で、土木関連においては、前年度まで好調に推移していたコンクリート表面保護や連続繊維シート補強等に関連する樹脂の販売が低調に推移しました。

以上の結果、売上高は589億23百万円(前年同期比2.3%増)となり、営業利益は56億94百万円(前年同期比12.9%増)となりました。

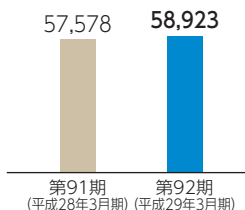
ボンド



■ 売上高

58,923百万円

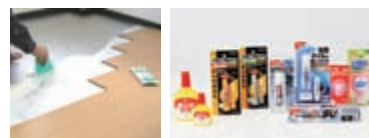
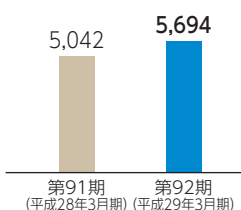
前年同期比 2.3%増
(百万円)



■ 営業利益

5,694百万円

前年同期比 12.9%増
(百万円)



【化成品】

化学工業業界においては、樹脂原料の需要減退や販売単価の下落の影響により減少しました。

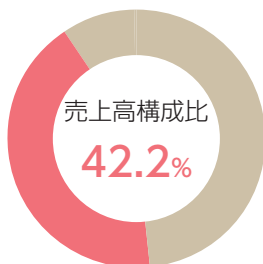
電子電機業界においては、新たに納入を開始したセンサー向け商材等が好調に推移しました。

自動車業界においては、ハイブリッド車を中心に使用される商材の増加が継続しており、北米向けの好調な車種への商材も大きく伸長し、売上は堅調に推移しました。

塗料業界においては、国内向け住宅用、建築用、自動車補修用塗料の販売が大きく落ち込んでおり、塗料向け商材全般は低調に推移しました。

以上の結果、売上高512億10百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益4億28百万円(前年同期比10.3%減)となりました。

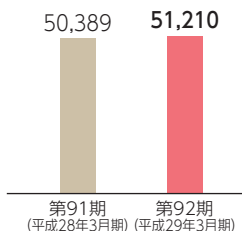
化成品



売上高

51,210百万円

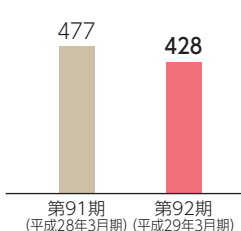
前年同期比 1.6%増
(百万円)



営業利益

428百万円

前年同期比 △10.3%減
(百万円)

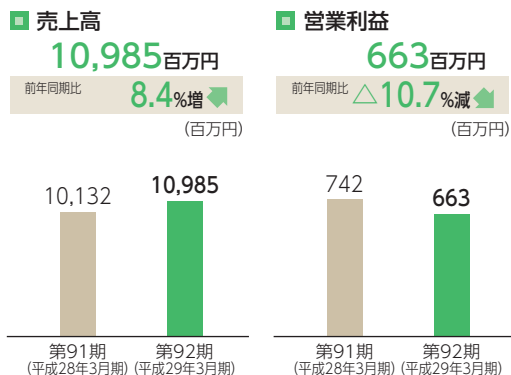
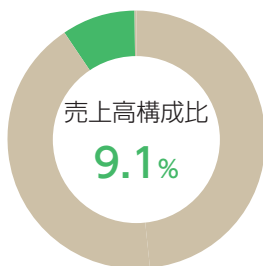


[土木建設工事]

土木建設工事においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が堅調に推移しており売上を伸ばしました。しかしながら、一部工事において工期が延長し利益は減少しました。

以上の結果、売上高109億85百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は6億63百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

土木建設工事



[その他]

その他は化学品データベースシステムの販売および不動産賃貸業となります。平成28年7月に化学品データベースシステムの販売会社の株式を譲渡し、売上高、営業利益は減少しました。

以上の結果、売上高2億31百万円(前年同期比69.6%減)、営業利益は46百万円(前年同期比59.0%減)となりました。

コニシと言えば「ボンド 木工用」のように、コンシューマー分野向けの接着剤をメインに販売していると思われるがちですが、実はコンシューマー用は売上全体の約15%。売上の多くは、住関連分野、産業資材分野、土木建築分野の接着剤です。

1952年（昭和27年）に開発された「ボンド」は製本用・製袋用の接着剤でしたが、翌年「木工用」が開発されたことをきっかけに積極的に建具・家具など建築市場の開拓に取り組んできました。その後、用途に応じ、建築業界で求められる製品は木工用のみならず、ゴム系・エポキシ系・ウレタン系など時代とともに変化していきますが、コニシは時代時代のニーズに応え製品を開発、拡充させていきました。

「ボンド」は物と物の間で使用されるため、なかなか皆さんの目につくことはありません。

**当社の製品「ボンド」が活躍しているシーン、
「ココニモ、コニシ！」をご紹介します。**



1 よりよい住まいづくりに貢献

完成すれば目には見えなくなってしまうますが、住宅の基礎組みの段階から、床用接着剤、壁や天井などの内装やキッチンパネル用の接着剤など住宅内装のあらゆるところでコニシの接着剤が使用されています。また、内装だけでなく、外壁のタイル用接着剤やシーリング材など、家づくりに関わる様々なところでコニシの製品が活躍しています。



①住宅基礎組みにおける
束の施工風景



②戸建住宅二階の床板の
施工風景



③住宅内装
床フローリングの施工風景



④住宅内装
壁紙貼り付け施工風景



⑤住宅外装
外壁タイル施工風景

2 身近なものにも活躍しています

紙管は、段ボール・新聞・雑誌などの古紙を原料とした、100%再生紙製品。

その利用用途は、暮しの空間から農業・工業までの全産業分野に及んでいます。身近なものではサララップやトレットペーパー等の芯、接着剤の容器やテープの芯にも使用されています。



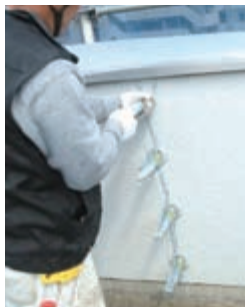
原紙に接着剤が塗布され、スパイラル状に巻き込み、管の状態にしていきます。

ここ数年で紙管用接着剤の販売数量は増加しており、当社の現在のシェアは約40%。当期も順調に売上を伸ばしました。



3 公共の建造物や社会インフラを支えます

ビルやマンション、学校や病院など、1950年代からの高度経済成長期や80年代のバブル時代に建てられたコンクリート構造物が経年劣化により、ひび割れやコンクリートの欠損などが発生し、それらに対する補修・改修工事が進められています。このようなコンクリート構造物の補修・改修工事においてもコニシの「ボンド」が活躍しています。また、これら建築分野で培ってきた技術を進化させ、橋や道路、上下水道といった社会資本ストックの補修・改修にもコニシの製品や工法が活用されています。



コニシ独自で開発したシリンダーを使い、低圧・低速でエポキシ樹脂を注入する「ボンド シリンダー工法」。ひび割れ箇所から建物内部に水が浸入し、内部の鉄筋が発錆するのを防ぎます。

「ボンドKEEPメンテナンス工法 VM-3」を施工し、橋梁のコンクリートの剥落を防止しています。

橋脚にカーボンやアラミド繊維を接着剤で巻きつける「ボンド連続繊維シート補強工法」で耐震補強を行います。

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。